

記入例

更新申請の場合のみ記入

受給者番号 1 2 3 4 5 6 7

特定疾患医療受給者証交付申請書兼同意書

新規 1
更新 2

裏面の職業コードを記入

裏面「保険種別」を参考に○印

フリガナ	ミエ タロウ	性別	①男 2女	職業	1
氏名	三重 太郎	生年月日	明・大・昭	平△△年△△月△△日	
住所	三重県△△市△△町△△△番地		郵便番号	△△△-△△△△	
			電話番号	△△△△-△△-△△△△	

裏面の続柄コードを記入

フリガナ	ミエ タロウ	受療者との続柄	0 1
被保険者氏名	三重 太郎		

被保険者証を見て記入

加入医療保険	1協 2組 3船 4共 5国 6後 7その他()	介護認定	①有 2無
保険種別		保険者番号	△ △ △ △ △ △ △ △

介護保険認定を受けている場合、1有に○印

名称	全国健康保険協会△△支部
所在地	三重県△△市△△町△△△
記号番号	△△△△ △△△

保険者名を記入

病名	1 2 潰瘍性大腸炎
----	------------

後期高齢者の場合は、被保険者番号を記入

現在承認を受けている医療機関と訪問看護ステーションをすべて記入

受療医療機関	1	名称	
		所在地	
	2	名称	
		所在地	
	3	名称	
		所在地	
	4	名称	
		所在地	
受療訪問看護ステーション	1	名称	
		所在地	
	2	名称	
		所在地	

裏面の病名コードを記入

裏面もご覧ください

(注)臨床調査個人票の研究同意について
特定疾患治療研究事業は、重症で希少な特定疾患の研究を推進するための制度であり、提出した臨床調査個人票が厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業の研究班において、個人情報保護のもと、疾患研究の基礎資料として使用されることを確認した上で申請してください。
(詳細については、裏面をご覧ください。)

上記のとおり、臨床調査個人票の研究利用について同意し、特定疾患医療受給者証の交付を申請します。

申請者氏名 _____ 印

平成△△年△△月△△日

三重県知事

あて

受療者氏名を記入
受療者が未成年の場合、保護者氏名を記入

押印

受付欄

特定疾患医療受給者証交付申請書 コード表

表1 職業コード

1	勤労者
2	自営業
3	学生・生徒
4	家事従事者
5	無職
6	その他

表2 続柄コード

01	本人	08	次男以降
02	父	09	次女以降
03	母	10	兄
04	夫	11	弟
05	妻	12	姉
06	長男	13	妹
07	長女	14	その他

表3 保険種別

「協」 全国健康保険協会管掌健康保険	「組」 組合管掌健康保険
「船」 船員保険	
「共」 国家公務員共済保険、地方公務員共済保険、私立学校教職員共済保険等	
「国」 国民健康保険	
「後」 後期高齢者医療	

表4 病名コード

1	ベーチェット病	29	膿胞性乾癬
2	多発性硬化症	30	広範脊柱管狭窄症
3	重症筋無力症	31	原発性胆汁性肝硬変
4	全身性エリテマトーデス	32	重症急性膵炎
5	スモン	33	特発性大腿骨頭壊死症
6	再生不良性貧血	34	混合性結合組織病
7	サルコイドーシス	35	原発性免疫不全症候群
8	筋萎縮性側索硬化症	36	特発性間質性肺炎
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	37	網膜色素変性症
10	特発性血小板減少性紫斑病	38	プリオン病
11	結節性動脈周囲炎	39	肺動脈性肺高血圧症
12	潰瘍性大腸炎	40	神経繊維腫症
13	大動脈炎症候群	41	亜急性硬化性全脳炎
14	ビュルガー病	42	バッド・キアリ症候群
15	天疱瘡	43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症
16	脊髄小脳変性症	44	ライソゾーム病
17	クローン病	45	副腎白質ジストロフィー
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)
19	悪性関節リウマチ	47	脊髄性筋萎縮症
20	パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)	48	球脊髄性筋萎縮症
21	アミロイドーシス	49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎
22	後縦靭帯骨化症	50	肥大型心筋症
23	ハンチントン病	51	拘束型心筋症
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	52	ミトコンドリア病
25	ウェゲナー肉芽腫症	53	リンパ脈管筋腫症(LAM)
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	54	重症多形滲出性紅斑(急性期)
27	多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)	55	黄色靭帯骨化症
28	表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	56	間脳下垂体機能障害(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)